

請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	令和元年9月2日 第21号
件 名	文京区における「緑化の目標」の指標の多様化と緑化対策の強化を求める請願
請 願 者	文京区千石四丁目35番16号 みんなでみんなのまちづくり 代表 屋和田 珠里
紹介議員	海津 敦子 国府田 久美子
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	建設委員会

請願理由

文京区が実施した「第8次文京区緑地実態調査報告書」によると、文京区の「緑被率」は「今回が18.4%で、前回より0.3%の増」（令和元年6月27日建設委員会でのみどり公園課長報告、原文ママ）となったものの、都市構造区分別緑被率の推移を見ると「低層建築群」は今回（平成30年）が12.9%で、前回（平成24年）より0.5ポイントの減となり、用途地域別緑被率は「第一種低層住居専用地域」が今回37.8%で、前回より1.3ポイント減と用途地域別で最大の減少幅となりました。区域別緑被率は、「小日向」では今回が15.7%で、前回より0.3ポイント減、「西片」では今回が15.0%で、前回より0.9ポイント減となっており、文京区を代表する由緒ある閑静でみどり多い住宅地において緑被率が低下しています。

また、「緑視率」(*1)に関しては、「区内の平均緑視率は14.2%」で、「前回調査と比較すると0.5ポイント、前々回と比較しての1.8ポイントの減少であった。宅地内の樹木の伐採や、道路拡幅などによる街路樹の撤去などが減少の原因である」（第8次文京区緑地実態調査報告書）とされていますし、接道緑化に関しては「接道緑化の延長及び接道緑化率については増加してきている」「今の状況で接道緑化延長が増加している状況」（令和元年6月27日建設委員会でのみどり公園課長答弁）とは言うものの、同報告書によると「接道緑化の経年変化」の増減は「0.0」であり、内訳を見ると「区道」の増減は「-0.3」（同）、「私道（幅4m以上）」の増減は「-0.1」（同）と低下しています。同報告書では「今後の課題」として、「緑視率」については「民有地の緑の維持の促進」、「道路」については「民有地における接道部緑化の推進」を指摘し、「景観系統からの課題」として「道路の緑化の推進」を挙げています。区内全域の緑化余地も減少傾向にあり、区に働きかけて頂きたい、貴議会に対し、以下の請願を致します。

請願事項

- 1 文京区を「だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち」とするために、特に第一種低層住居専用地域や低層建築群などでのみどりの「質」と「量」の両面に於いて重点的に緑化対策を講じてください。
- 2 接道緑化については、文京区みどりの保護条例施行規則別表第二（第七条関係）の六において、「緑化に当たっては、接道部の緑化を優先して行うものとする」とするだけでなく、「接道部の緑化基準」に関する規定の有効性を調査・研究するなど、接道緑化にこれまで以上に重点的に取り組んでください。
- 3 「文京区緑の基本計画」の改定に当たっては、区民がみどりを実感できるかどうかの指標となる「緑視率」も「緑化の目標」として加え、「緑視率」の低下に歯止めをかけるような効果的かつ具体的な対策を検討してください。

(*1) 緑被率が視野外も含めた平面的な緑の量を測る尺度であるのに対し、緑視率では立面的に視野内に占める緑の量を対象とする。緑視率は緑の豊かさを実感する度合いを測るための指標といえる（第8次文京区緑地実態調査報告書から）